

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第4巻第39号

第39週(9月20日～9月26日)

発行年月日:平成16年(2004年)10月1日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1)全数報告の感染症(1類～5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (39週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀 (39週)	全国 (39週)	滋賀	全国 ^(*)
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	8	435	7	459
	腸チフス	0	1	50	0	60
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	18	2987	8	2635
4類感染症	E型肝炎 ^(*)	0	1	21		
	オウム病	0	1	33	1	44
	ツツガムシ病	0	0	99	2	380
	デング熱	0	2	34	0	31
	マラリア	0	1	50	0	77
	レジオネラ症	0	0	103	1	143
5類感染症	アメーバ赤痢	0	6	431	3	504
	ウイルス性肝炎	0	2	211	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	121	3	115
	後天性免疫不全症候群	0	4	835	8	949
	ジアルジア症	0	1	65	0	99
	梅毒	0	2	365	2	493
	破傷風	0	2	71	1	69
	急性脳炎	0	0	50	0	98

*1:平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2: " 感染症法の改正前のためE型肝炎のみの集計はされていません。

2)定点把握の対象となる5類感染症

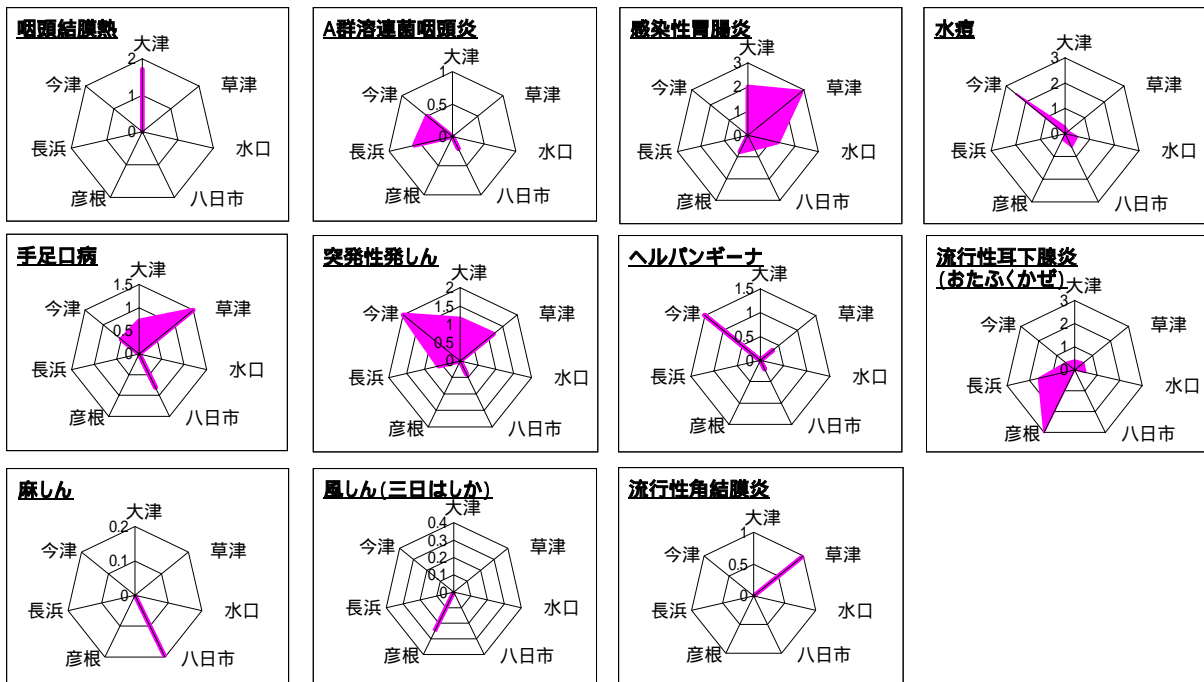
(1)疾病別・週別発生状況

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	34週		35週		36週		37週		38週		39週	
	(8/16～)	(8/23～)	(8/30～)	(9/6～)	(9/12～)	(9/20～)	35	36	37	38	39	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	0.82	1.00	0.45	0.85	0.36	0.36						
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.21	0.09	0.03	0.27	0.03	0.15						
感染性胃腸炎	0.88	1.30	1.12	1.45	1.18	1.27						
水痘	0.42	0.48	0.42	0.48	0.42	0.42						
手足口病	0.58	0.27	0.82	1.36	0.48	0.58						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.12	0	0.03	0.09	0						
突発性発しん	0.88	0.82	0.91	0.64	0.67	0.73						
百日咳	0	0	0.06	0	0	0						
風しん(三日はしか)	0.03	0.06	0.03	0.03	0	0.03						
ヘルパンギーナ	0.70	0.67	0.33	0.48	0.24	0.18						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0.03						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.55	0.45	0.79	0.88	0.82	0.88						
急性出血性結膜炎	0	0	0.14	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.29	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0.29	0.29	0.57	0.14	0.43	0						
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.29	0	0.29	0	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.36	1.71	0	0	0	0	0	0
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.15	0	0	0	0.20	0	0.60	0.50
感染性胃腸炎	1.27	2.00	2.83	1.25	0.60	0.75	0	0
水痘	0.42	0.29	0.17	0.50	0.60	0.25	0	2.50
手足口病	0.58	0.71	1.50	0	0.80	0	0	0.50
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	0.73	1.14	1.17	0	0.40	0	0.60	2.00
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0
ヘルパンギーナ	0.18	0	0.33	0	0.20	0	0	1.50
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.88	0.43	0.50	0.50	0	3.00	1.60	0.50
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0.14	0	1.00	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。水痘についてみると県全体の定点当たり患者数は先週と同じですが、先週多かった彦根では減少し今週は今津で多くなっています。感染性胃腸炎についてみると今週は水口、八日市、彦根においても発生しています。また、八日市保健所管内からは麻しんの発生が報告され、彦根保健所管内からは風しんの発生が報告されています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3)今週のトピックス

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の発生に地域的な偏り 定点把握の対象となる5類感染症の発生状況(平成16年第34週～第39週)

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(9月13日～9月19日)の報告数とほぼ同じで少なく大きな変化はみられません。A群溶連菌咽頭炎、手足口病、突発性発しん、流行性耳下腺炎等の報告がやや増加しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

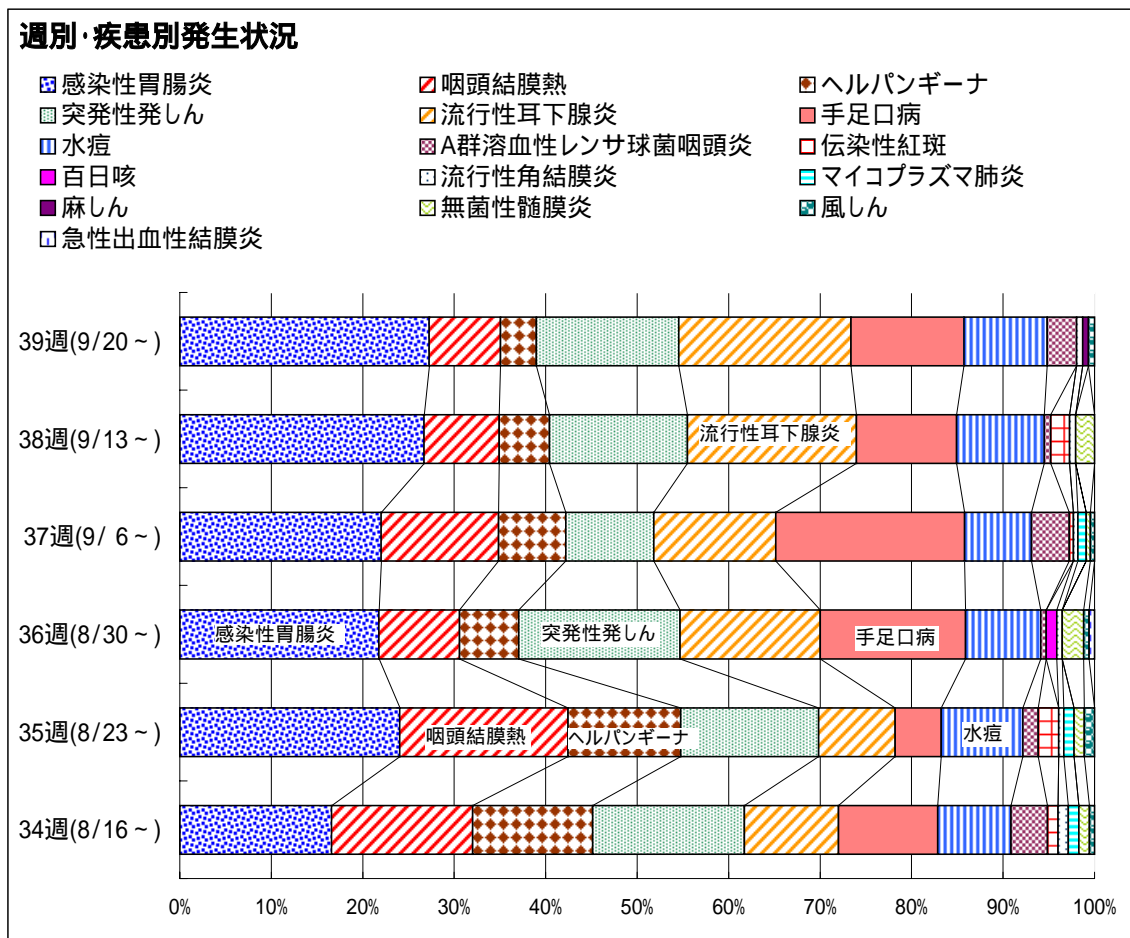
手足口病については、先週の定点当たり患者数0.48よりやや増加し0.58となっています。先週多かった大津および今津保健所管内の定点当たり患者数は減少し、今週は草津保健所管内において多くなり1.50となっています。

突発性発しんについては、定点当たり患者数は先週よりやや増加し0.73となり今津保健所管内では2.00と多くなっています。また、大津および草津保健所管内においても定点当たり患者数はそれぞれ、1.14、1.17となっています。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)については、定点当たり患者数は先週よりやや増加し0.88となっており先週に引き続き彦根および長浜保健所管内において多くなっています。定点当たり患者数はそれぞれ3.00、1.60です。

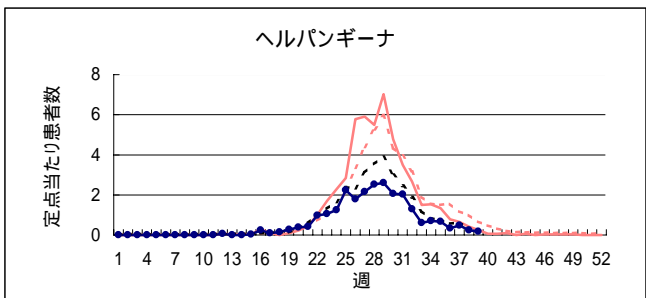
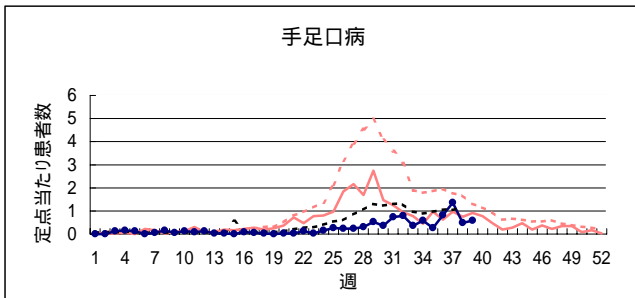
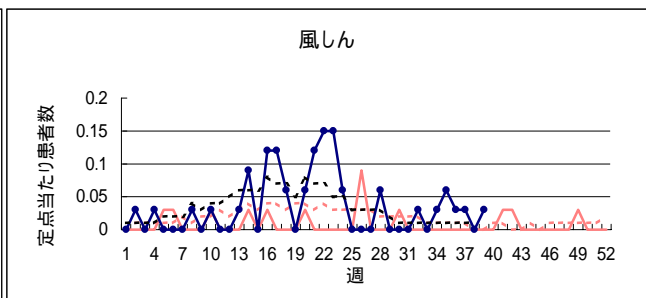
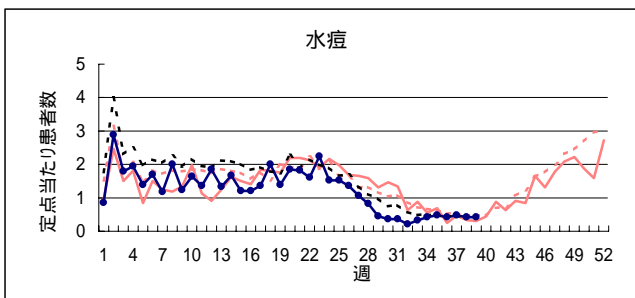
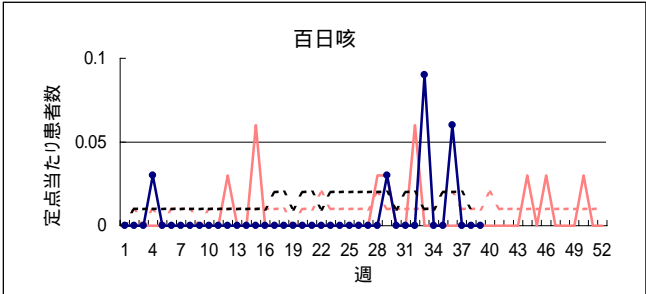
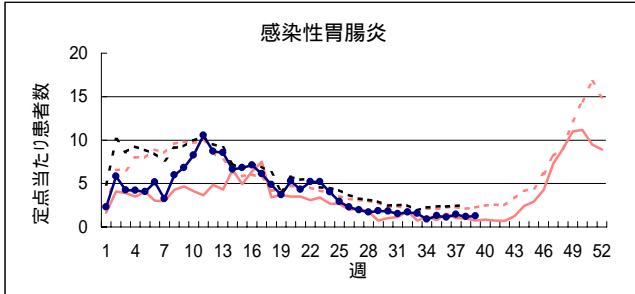
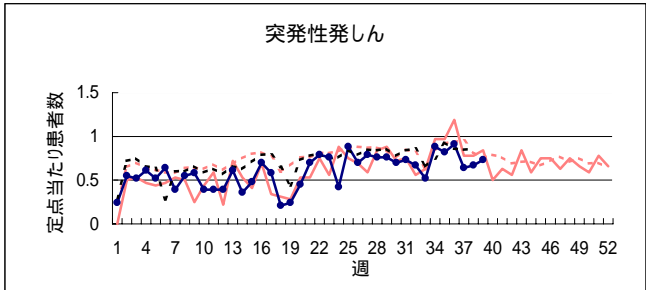
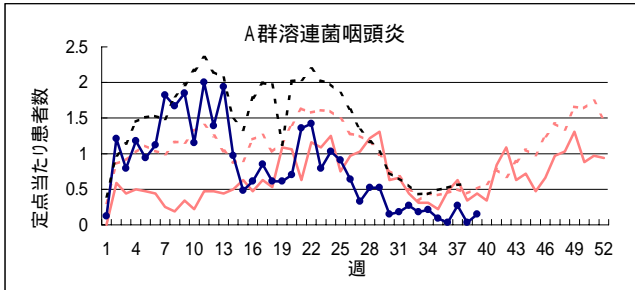
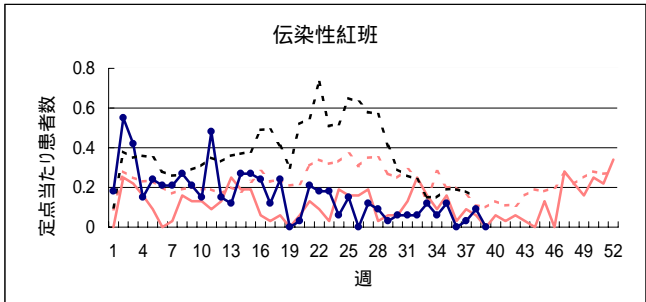
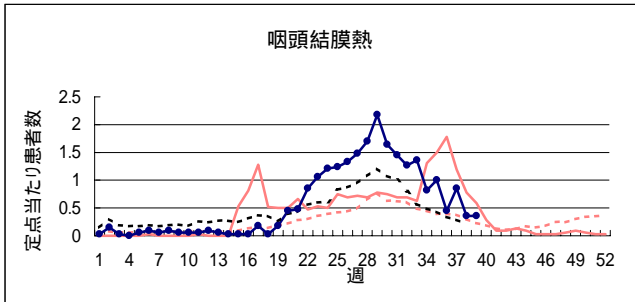
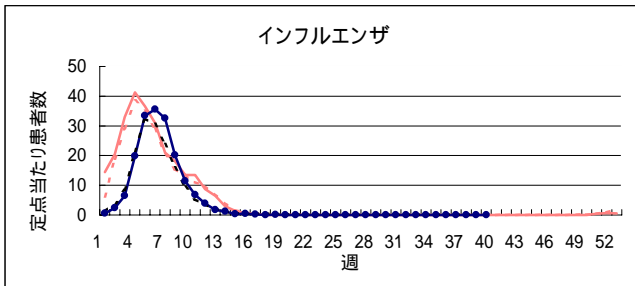
定点把握の対象となる5類感染症の発生状況(平成16年第34週～第39週、H16.8.16～H16.9.26)

平成16年第34週～39週の週別・疾患別発生状況についてみると、第34週の上位疾患における発生割合に大きな変化はみられませんが、35週～39週においては咽頭結膜熱およびヘルパンギーナは減少傾向を示し感染性胃腸炎および流行性耳下腺炎は増加傾向となっています。また、無菌性髄膜炎は減少し水痘およびA群溶連菌咽頭炎がやや増加傾向を示しています。突発性発しんの発生割合については大きな変化はみられません。百日咳、麻しん、風しん(三日はしか)および急性出血性結膜炎については散発的な発生がみられます。



全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**
(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第39週、H15.12.29～H16.9.26)



疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第39週、H15.12.29～H16.9.26)

H15 〔 滋賀 ———— 全国 〕
 H16 〔 滋賀 —●—●— 全国 〕

